Mitaka Education Board

みたかの教育

令和8年(2026)
1/18

©2001
スタジオジブリ

編集・発行　三鷹市教育委員会　〒181-8505三鷹市下連雀9-11-7　市役所電話(代表)☎0422-45-1151　HP https://www.city.mitaka.lg.jp/

小・中学校で「デジタル・シティズンシップ教育」を推進しています

教育委員会では、デジタル・シティズンシップを「デジタル技術を適切に利用し責任をもって自ら考え行動し、よりよいデジタル市民になるために必要な資質・能力」と捉え、令和５年３月に「デジタル・シティズンシップ育成指針」を策定しました。

この指針に基づき、各学園・学校において特別の教科　道徳の時間での議論、保護者・地域との協働による熟議、活用型情報モラル教材「GIGAワークブックとうきょう」の活用など、子どもたちの実態に応じた工夫ある取り組みを展開しています。　⇨指導課☎29-9819

三鷹市デジタル・シティズンシップ育成指針

三鷹市デジタル・シティズンシップ「私の行動宣言集」

1人1台 学習用タブレット端末を更新しました！

子どもたちの個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、市立小・中学校では児童・生徒１人１台の学習用タブレット端末の活用を進めています。この端末を、令和８年１月から更新しました。

引き続き、デジタル技術を活用した教育活動の充実に取り組むとともに、デジタル機器のよりよい使い手となるために考え行動する子どもたちの育成を目指していきます。　⇨総務課☎29-9812

連雀学園の取り組み

連雀学園（第一中学校、第四小学校、第六小学校、南浦小学校）では今年度、各校の児童会と生徒会が中心となって「みんなが幸せになるためのデジタル・シティズンシップ宣言」を作成しました。学園共通の「わたしたちの目標」と「目標を実現するために」を基に、各学校で「使用目的」「モラル」「セキュリティ」の３つの視点からの行動宣言を決めています。

連雀学園デジタル・シティズンシップ宣言

わたしたちの目標

わたしたちはお互いの個性を大切に新しい壁に挑戦し続けられるような人生と社会をめざします

目標を実現するために

デジタル社会の中で目標を実現するために、わたしたち学園生は

- ●人生の視野を広げるために活用します（使用目的）
- ●お互いの個性と意見を大切にします（モラル）
- ●自分の周りの人に関する情報を守ります（セキュリティ）

（例）第六小学校の行動宣言

使用目的

- ●タブレットは学習のために利用しよう
- ●時間を決めて使おう(長時間使わない)（夜遅くまで使わない）
- ●ミライシードを積極的に活用しよう
- ●いろいろなアプリがあるので自分でためして、使ってみよう
- ●破損や紛失に気を付けて大切にしよう

モラル

- ●インターネットの情報は正しいものか確認して活用しよう
- ●友達の写真は撮らない（必要なときは先生に確認しよう）
- ●個人情報（顔写真や名前など）はインターネットやSNSに発信しない
- ●人のことを傷つけることには使わない

セキュリティ

- ●責任をもってタブレットを管理しよう（タブレットの貸し借りはしない）
- ●パスコードやパスワードは自分で管理しよう（人には教えない）
- ●設定を勝手に変えないようにしよう
- ●不審なサイトにアクセスしない

学校でのデジタルを活用したICT教育

2020年の新型コロナウイルス感染症の拡大により、文部科学省のGIGAスクール構想のもと、三鷹市でも2021年１月に、市立小・中学校のすべての児童・生徒に１人１台の学習用タブレット端末が貸与されました。我が家でも市立小学校に通っていた子どもが学習用タブレット端末を持ち帰ってきた時には、時代の流れを実感するとともに、どのように子どもたちが学校で活用していくのか、また子どもたちがデジタルデバイスに依存してしまうのではないかと不安と期待が入り混じった気持ちになったのを覚えています。

デジタルデバイスの導入から早、５年の月日が経ちました。コロナ禍ではオンライン授業が可能となり、自宅にいても学びを止めないという点で効果を発揮しました。学校の授業での活用も、先生方の努力により様々な教科で学びを深める為に効果的に活用されている現場を学校訪問で私たち教育委員も見させていただいております。また、保護者と学校との間でも校支援というアプリの導入により、通常の欠席連絡や学校から保護者への連絡等が容易に行えるようになりました。

これからの時代はデジタルデバイスを避けては生きていけない時代となります。日々進化し、また生成AIの活用など、まだまだ未知な要素を含むものも出現してきています。私も子を持つ親として、今後のICT教育の行く末を注視していくと共に、子どもたちに遅れを取らぬよう共に学んでいきたいと考えております。

教育委員
須藤（すどう） 金一（きんいち）